

2018 夏 教育実践福島ラウンドテーブル（一次案内）

学び続ける教師コミュニティ



2018

8.20(月)

— 10:00～16:00 —



教育問題を考える時、幼児教育から小・中・高・大学、さらに社会教育といった長期的視点に立って継続的にとらえる必要があると思われます。その場が、このラウンドテーブルです。

教員、学生及び教育に関心のある方が一堂に会して、子供たちの夢を実現できる学びの場を目指し、様々な観点から教育を語り合しましょう。

10:00～10:05 主催者挨拶 (受付：L1 ロビー)

10:05～12:00 基調講演「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた児童生徒の問いを中心とした授業実践」

講師 小山 義徳 氏 (千葉大学教育学部 准教授)

12:00～13:00 昼食 (大学会館内の生協店舗を利用することができます。)
※食堂は工事のため利用できません。

13:00～16:00 ラウンドテーブル (受付：S 棟 1F ロビー)
幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援・大学・教育委員会・一般の方々を交えて、数人のテーブルにわかれ、報告をもとに日々の教育活動について自由に語り合います。

16:30～18:00 懇親会 (会費 1,000 円) (受付：大学会館 2F 大集会室)
自由な雰囲気の中で意見を交換し、親交を深めます。

* 大学構内の駐車場を無料でご利用いただけます。
駐車券を受付までお持ちください。

* 当日は軽装でお出かけください。

* <お申し込み・お問い合わせ先>

福島大学人間発達文化学類支援室
TEL 024-548-8101
FAX 024-548-3181

Mail: ningen@adb.fukushima-u.ac.jp

主催 福島大学大学院人間発達文化研究科

共催 福島県教育委員会

後援 福島県市町村教育委員会連絡協議会 福島県都市教育長協議会 福島県町村教育長協議会
福島県小学校長会 福島県中学校長会 福島県高等学校長協会

ラウンドテーブル入門

ラウンドテーブルって何？

- ラウンドが円、テーブルが卓で、ラウンドテーブルは円卓を意味します。報告者と聴き手が共にテーブルを囲み、報告テーマに即して自由に意見を交換する場です。
- 各テーブルに、報告者2～3名、ファシリテーター1名を予定しています。
- それぞれの報告に十分時間をかけ、様々な立場から意見を述べ合い、テーマを深めていきます。
- 3時間があっという間に過ぎるでしょう。

ラウンドテーブルでは何を話し合うの？

- 報告者は、実践の道のりをふり返り、成果を報告するだけでなく、「今このようなことで悩んでいるのですが？」と課題や疑問をありのままに報告します。
- 聴き手は自分の実践経験から、「こんな指導が効果的でした」などの意見を述べます。きっと解決の糸口が見えてくるでしょう。
- 報告者も聴き手も、様々な話し合いを通して、自己課題に気付き、新たな方策を共に紡ぎだしていきましょう。

報告者募集中! ■ ふだん取り組んでいることや悩んでいることを、A4判 1 枚に 1～2項目を立てるだけで

結構です。口頭で報告してください。もちろん、詳しい資料も歓迎です。

(資料は、7部ご持参ください。)

■ 院生32名も、これまでの学びの道のりを報告します。

新たな出会いが明日への活力となります。多くの皆様をお待ちしております。

2018 夏 教育実践福島ラウンドテーブル 参加申込書

(A) 氏名・ふりがな		
(B) 所属・職名		
(C) 所属分類		
(D) 職業分類		
(E) 地域分類		
(F) 参加の仕方 (該当箇所に ○をつけてく ださい)	1日参加	
	午前のみ参加	
	午後のみ参加	
	懇親会参加	
(G) ミニレポート報告希望	() あり () なし	() あり () なし
(H) 連絡先メールアドレス		
(I) 連絡先電話番号		

(記入分類例)

(C) 所属：1 幼・保2 小学校 3 中学校 4 高校 5 特支 6 大学 7 教育委員会 8 社会教育施設 9 病院・福祉施設 10 その他

(D) 職業：1 教員(現職院生含む) 2 学校管理職 3 研究者 4 社会教育 5 障がい・福祉 6 病院・看護 7 行政職・指導主事
8 学部生 9 大学院生 10 その他

(E) 地域：1 県北地区 2 県中地区 3 県南地区 4 会津地区 5 南会津地区 6 相双地区 7 いわき地区 8 福島県外

<参加申し込み方法>上の参加申込書に記入してFAXで送っていただくか、人間発達文化学類WEBページから申込書をダウンロードしてメール等で2018年8月3日(金)までにお申し込みください。(当日受付可)